

山口 扶弥

やまぐち ふみ

山口 扶弥 Fumi Yamaguchi

健康科学部 看護学科 教授

学歴・学位

藤田保健衛生大学 衛生学部 衛生看護学科 卒業 看護学士
広島大学大学院保健学研究科 博士課程前期 修了 保健学（修士） 平成 8年～平成 10年
広島大学大学院保健学研究科 博士課程後期 修了 保健学（博士） 平成 10年～平成 13年

主要職歴

平成 5年～平成 7年 福井県立大学 看護短期大学部 第一看護学科 助手
平成 13年～平成 18年 日本赤十字広島看護大学 助手
平成 18年～平成 19年 県立広島大学 保健福祉学部 看護学科 助教授
平成 19年～平成 21年 広島大学 医学部保健学科 准教授
平成 21年～ 広島都市学園大学 健康科学部 看護学科 教授 （現在に至る）

専門分野

公衆衛生看護学，在宅看護学

主な担当科目

公衆衛生看護学概論，公衆衛生看護学-地区活動論-，公衆衛生看護学-保健活動論-，
公衆衛生看護管理論，公衆衛生看護学-地区活動展開-，人間の行動と健康，国際保健学，セルフケア論，
公衆衛生看護学-地区活動実習-，公衆衛生看護学-保健活動実習-

研究テーマ

感染症のリスクイメージと意識・予防行動に関する研究，高齢者のお達者要因・支援に関する研究，
産後うつ及び育児支援に関する研究

ひとこと

心の成長の上に、技は磨かれていきます。10年後の貴方・・・どうなっていたいですか？どのように生きたいですか？
自らの志をもって、少しずつ進んでいきましょう。
学生の皆さんと、一緒に考え、悩み、喜び、楽しみ、ともに成長していきたいと思っています。

その他（所属学会・団体）

日本公衆衛生学会，日本エイズ学会，日本性感染症学会（認定士 17C-006），日本保健医療行動学会，日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本地域看護学会，小児保健協会

研究活動

学術論文

- 1) 精神科看護師が身体合併症ケアを実施する上での臨床判断における困難さ。国際医療福祉大学学会誌，20 巻 2 号:pp.70-77(2015.8).
- 2) 母親の産後うつ傾向に影響を与える要因 産後 5 日から 6 ヶ月の縦断的調査からみえてきたこと。国際 Nursing Care Research，15 巻 3 号:pp.23-32(2016.10)
- 3) 乳児をもつ母親の育児不安に関する縦断的研究-初産婦と経産婦の傾向と支援対策の検討-。広島都市学園大学雑誌 健康科学と人間形成，第 3 巻 1 号:PP.13-23（2017.5）

学会発表

- 1) Needs of mothers for support after childbearing : A logitudinal study focusing postnatal depression. The 6th International Conference on Community health nursing Research 2015(Kore,Seoul)programs.P76.
- 2) The Difference of Change in Father's Childcare Behavior before and after Childbirth and Related Fact. The 3th KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing 2016 (Busan,Korea) programs.P85.
- 3) Image of visiting nurses by nursing students : support in home Medical care future. he 3th KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing 2016 (Busan,Korea) programs.P81.
- 4) Parenting difficulties of mothers with three-year-old children. The 20th EAFONS : East Asian Forum of Nursing Scholare 2017 (Hong Kong) programs.P.103.
- 5) Present situation and issues pertaining to mothers' childcare and work:A status survey on mothers with children aged three years. The 22th EAFONS : East Asian Forum of Nursing Scholare 2019 (Singapore) programs.P.E(1E17).

外部資金

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業 挑戦的萌芽 2011-2014（研究代表）
研究課題：出産・退院後早期の母親への継続支援に関する研究（23660122）
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 C 2013-2016（分担研究）
研究課題：多職種協働による在宅精神障害者のためのアウトリーチ推進に向けた教育モデルの開発（25463553）

その他（研究受賞）

平成 16 年度・日本性感染症学術奨励賞受賞：（演題）STD 感染者の性行動とリスク行動－実態の把握と改善策の検討-。（掲載）日本性感染症学会誌，15(1):48－56,2004.